

令和6年度第1回 三島市子ども・子育て会議 議事録（要旨）

業務名	第3期 三島市子ども・子育て支援事業計画策定支援業務
日時	令和6年10月9日（火）14:30～16:00
会場	三島市役所本庁舎3階第1会議室
出席者	<p><令和6年度 子ども・子育て会議委員>13名出席（欠席6名） （会長）山本 睦委員 （副会長）杉村 太陽委員 岩清水 伴美委員 瀬川 早紀委員 酒井 真絵委員 芹沢 令子委員 加藤 保委員 越膳 良子委員 森島 チエ子委員 中野 由紀子委員 小早川 宏子委員 山谷宣子委員 森 万紗子委員</p> <p><事務局> 10名 社会福祉部： 佐野部長 こども保育課：渡邊課長 発達支援課：杉山課長 健康づくり課：浅見課長 福祉総務課：石田課長 教育総務課：島課長 学校教育課：中村課長 こども未来課：岩崎課長、朝木課長補佐、倉田主査</p> <p><傍聴人> 0名 <委託業者（株式会社ぎょうせい）> 3名</p>
次第	<p>1 開会 2 委嘱状交付 3 挨拶 4 報告 (1)「第2期三島市子ども・子育て支援事業計画」における各事業の実績報告について（資料①、②）</p> <p>5 議題 (1)「子ども・子育て支援事業計画」策定の基本方針について ・第3期三島市子ども子育て支援事業計画策定の基本方針（資料③） (2)「三島市子ども・子育て支援事業計画」骨子案について ・三島市子ども・子育てアンケート調査結果について（資料④） ・三島市の子ども・子育てを取り巻く状況と児童人口の今後の見通し （資料⑤）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・第3期三島市子ども・子育て支援事業計画骨子案（資料⑥） (3)特定教育・保育事業の利用定員について（資料⑦） <p>6 閉会</p>
--	--

配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・子ども・子育て会議委員名簿 ・令和6年度第1回三島市子ども・子育て会議 座席表 ・資料①～⑦ <ul style="list-style-type: none"> ① 三島市 子ども・子育て支援事業計画の施策・事業一覧 ② 三島市第2期計画の状況について ③ 第3期三島市子ども子育て支援事業計画策定の基本方針 ④ 三島市_子ども・子育てアンケート結果（概要） ⑤ 三島市の子ども・子育てを取り巻く状況と推計児童人口 ⑥ 第3期三島市子ども・子育て支援事業計画 骨子案 ⑦ 特定教育・保育事業の利用定員の確認について
------	--

略称略

協議内容（要旨）	
1 開会	<p>○事務局 事前配付資料の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前配付資料は、次第、資料1から資料7まで。 ・資料1の10ページに誤りあり、机上紙面と差替え依頼。 ・本日配付資料は、名簿、座席表、資料4の別添（追加）、チラシ（すくすくガイド、三島市こども家庭センター、アクティブラーニング）。 <p>○会長 11月23日開催「アクティブラーニング」について参加者希望の案内。</p>
2 委嘱状交付	
3 挨拶	<p>○鈴木副市長より挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次期計画が本市の子ども・子育て事業のさらなる一層の発展につながるよう、それぞれの立場から忌憚のない御意見をいただきたい（この後、公務のため退室）。 <p>○事務局 出席者紹介と会議開催要件報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員紹介は、委員名簿参照にて割愛。事務局職員のみ紹介。 ・本会議の事務局は、こども未来課が担当。 ・全19名の委員中6名欠席、13名出席により、三島市子ども・子育て会議条例に基づく定足数を満たしており、会議が成立することを報告。傍聴希望者は“なし”を報告。

協議内容（要旨）

○会長より挨拶

- ・ ども家庭庁が提唱するどもまんなか社会に関する様々な取組として、小学校に入学するまでの間を手厚くするという国の方針が打ち出されている。
- ・ 今回の会議では、本日は骨子案等について御審議をいただくので、多数の貴重な御意見いただきたい。

4 報告

(1)「第2期三島市子ども・子育て支援事業計画」における各事業の実績報告について（資料①、②）

資料①「三島市 子ども・子育て支援事業計画の施策・事業一覧」、資料②「第2期三島市子ども・子育て支援事業計画の状況」に沿って事務局より説明。

○会長 順番に御意見、御質問などがありましたら、お願いしたい。

○委員 健康づくり課の相談事業について、発達が気になるお子さんを見つけ出すことがとても大事になると思うが、その辺の内容が入っていないので、きちんと記載するべき。

○委員 学童の時間が延びたことはすごく助かる。

○委員 日々感じていることを伝えることができよかったという保護者の方がいて、アンケートで直接詳しく聞くことは有意義なことだと思った。

○委員 学童の時間が延びたことが周りからもよかったということで話が出ている。「広報みしま」もすごく活用していて、そこでこのイベントに参加したいという話がママたちの中でも出ている。今後もお願いしたい。

○委員 労働組合にいて行政要望をやっている。その中で子育て、待機児童の問題など沿線の各市町と比べ、三島市が一番先端を行っているという印象を持っている。

○委員 不登校の生徒が多い中で、形式的卒業のまま支援の手を離れてしまう場合、手の差し伸べ方、地域での見守り方に難しさ感じるの、そのあたりのフォローにも力を入れていく必要がある。

子育てコンシェルジュの取組も1名ではなく、その先のコンシェルジュを育てる必要を感じる。

○委員 三島市の場合、公立、私立を問わず、相談に乗ってもらっていて分け隔てなくお答えいただきありがたい。

乳幼児健診のときには特に言われなかった方で、その後が心配ということがある。市としての職員配置が大変だと思うが、今後も増やせるところは増やしてほしい。

○委員 保護者の方から育児不安が多く聞かれるが、2人目の子どもができたときの不安が強いようだ。自分の中で思っていた生活と違うと感じている方が多く、家庭の中に入って支援をしてあげられるものが何かあるといいと思った。

ども家庭センターが設置されたことによって、園からの相談がともしやすくなっ

協議内容（要旨）

た。コンシェルジュが1名とういことなので、もう少し配置ができればうまく連携が取れると思う。

○委員 以前は、長泉町はいいという声を聞いていたが、最近は三島に住みたいという方が増えた。相談などがきめ細やかという印象を受けている。

病児保育について、1か所できたが利用を断った方がいたということだが、定員が増え、保育士が増えると、断ることが減っていくと考えてもいいか。

○事務局 そのとおり。去年はインフルエンザが大流行し繁忙となった。

現状では、定員の増員と保育士の充足をさらに進めるとのことであるが、今後の動向を見ながら、施設の増設など、慎重に判断していきたい。

○委員 拡充されるといいと思う。

○委員 10年以上前だが0歳のときから保育園に預けていた。当時と比べると見違えるほど制度が充実し、すごく手厚いと感じている。

男女共同参画に関わっており、男性の育児休暇や産後パパ育休の取得がされていないのを見ている。資料で現状の数値が見えてくるといいと思う。

学童が外部委託になったことで利用しやすくなった。対応には本当に感謝している。

○委員 小学校の通学路で歩道の整備ができていない、またカーブミラーがない車道が何か所もある。そこをもう少し改善すると、安心して子どもが通学できると思う。

○会長 保育園の団体では三島市は保育や子育てに関してうらやましいと思われる。

配慮の必要なお子さんの相談先としてどこを案内すればいいのか悩んでいたが、「すくすくガイド」の中身を拝見し、どこに相談に行けばいいかが単純明快に分かり、すごくいいと感じた。

5 議題

(1) 「子ども・子育て支援事業計画」策定の基本方針について

・第3期三島市子ども子育て支援事業計画策定の基本方針（資料③）

資料③「第3期三島市子ども子育て支援事業計画策定の基本方針」に沿って事務局より説明。

(2) 「三島市子ども・子育て支援事業計画」骨子案について

・三島市子ども・子育てアンケート調査結果について（資料④）

・三島市の子ども・子育てを取り巻く状況と児童人口の今後の見通し（資料⑤）

・第3期三島市子ども・子育て支援事業計画骨子案（資料⑥）

資料④「三島市子ども・子育てアンケート結果（概要）」、資料⑤「三島市の子ども・子育てを取り巻く状況と児童人口の今後の見通し」、資料⑥「第3期三島市子ども・子育て支援事業計画について」に沿って事務局より説明。

○会長 これは骨子だから、これから細かい部分を決めていくのか。

協議内容（要旨）

- 事務局 そのとおりです。
- 会長 細かいところを決めていく際に、ぜひこういうアイデアを組み込んでほしいとなど、意見をうかがいたい。
- 委員 アンケートの概要について、年齢の幅がある中で回答なので、解釈しやすくするために回答者の年齢割合を明記してほしい。
- 事務局 アンケートを取るときに未就学児のところは、0歳から6歳まで大体同じ数だけのアンケートを取るようにして振り分けた。結果として、14%から17%の間で年齢ごとの推計は取れている。
- 委員 小学生も同じか。
- 事務局 小学生も同様。学年ごとに大体同じ人数のアンケートを取っている。
- 委員 回答者の分類なども書いたほうが分かりやすいと思う。
- 事務局 そのようにします。
- 委員 調査結果の読み取りで、例えば「大幅に」とは何%を言うのか、「減少」は少ないとするのか、など言葉がすごく曖昧なので、%でしっかり言ってしまったほうがいい。きちんと言葉の統一をしてほしい。
4ページ1行目の「1日8時間程度の就労」は、就学前の保護者ということか。保護者と書いてあるだけで、その後に小学生と書いてあるので、読み取りの細かいところの解釈が難しい。名称をしっかり入れてほしい。「母親の労働率」と書いてあるが、調査票には労働という言葉は入っておらず、就業という表現をしている。文言の基準を決め、統一をしてほしい。
5ページの表現について「実現できる見込みはない人が、前回と比べて減少している」とあるが、これが、雇用形態の希望が達成できる状況に近づいている、と言えるのか。もう少し分かりやすくしてほしい。
31ページの基本目標1、「子どもの健やかな育ちを応援します」の一番初めの■の下から3行目、認定こども園の希望割合が前回の調査よりも「17.1」とあるが、「8.5ポイント」ではないか。逆転しているのではないか。
その下の■の電子母子手帳のデータのところ、これは就学前の保護者回答か。確認し整理してもらいたい。
施策のところでは、お母さんを支えるため、様々な悩み、保育園や幼稚園に入れないことだけではなく、お母さん自身のことでの悩みなどに対して何をするのか。
お母さんの就業率も大事だが、男性の労働（育児休暇が取りにくい状況）をどうしていくのか。「こどもまんなか社会」で企業がサポーター制度取り入れているが、男性が育児休業どうすれば取りやすくなり、それに対して行政はどのような対策を取っていいか。このデータを見てとても大事だと考えさせられた。
- 事務局 アンケートの結果について。言葉の使い方が統一されていないところは、改めて事務局でも精査する。

協議内容（要旨）

31ページの希望割合ではなくて、現状の割合ではないかという指摘は、こちらの間違い。この文言は、現状の割合が前回の調査よりも17.1ポイント増加していると改める。その他の指摘は、次の素案を示す中で検討する。

- 会長 調査に関して、29ページの三島市の子育て支援に期待することについての回収率が57%と低く、二極化している。例えば「子どもが伸び伸び遊べる公園・広場などが欲しい」方と、「経済的支援をもっと充実してほしい」方では、背景となるものが全く違う。こども家庭センターに寄せられる相談事例等の分析をしないと、本当に困っている人が回答していない可能性が高いと考えられる。

こういう計画に関して、予算配分が見えない。統廃合の話が全く出てきていない。明らかに必要見込み量の減少や建物の過多、特に幼稚園の定員に対して子どもの数が激減しているので、民間（園）対策、市役所が中に入って調整を図ることができるか、が課題。

放課後児童クラブについて、全国の例では子どもの性的被害が起きている。学童の部分に関して第三者評価は実施しているのか。現状はないので、市としてどう管理実施をしていくのかが課題。

資料4の自由回答（AI）分析は、どの言葉とどの言葉がつながって出てくるのかということが一番大事。頻度の度数でネガティブとポジティブに分けるくらいで、重点目標の根拠になりづらい。使用には配慮が必要。

女性の就業について、子育てのための離職後の復職には、復職支援みたいなものがあればいいと思う。

保育士の中で問題となっているのは、児童の医療ケアを保育所がやらなければいけないように制度が変わったこと。看護師の配置は不要となったが、呼吸器をつけている子どもの痰を取る作業等、研修等でのフォローがなければ責任が持てない状況。

このような問題解決のために各課が連動・連携する必要がある。

(3)特定教育・保育事業の利用定員について（資料⑦）

資料⑦「議題（3）特定教育・保育事業の利用定員について」に沿って事務局より説明。

～委員からの異議なし～

<総括>

○会長 事務局には各委員から出された意見について、取り入れられるものについては、積極的に対応し進めることを望む。

6 閉会

次の会議についての開催は、12月19日木曜日の午後を予定。御案内は、追ってお送りする。

以上